

# いずも I Z U M O 市議会だより

2013.5.20

No.32

編集／広報委員会  
発行／出雲市議会

## 出雲市立向陽中学校 開校(竣工)式



### 新校舎で学校生活スタート

出雲市灘分町に整備が進められていた出雲市立向陽中<sup>こうよう</sup>学校が竣工し、4月6日に開校式が執り行われました。

○議会の動き	2
○議員名簿	3
○委員会報告	4
○請願・陳情・意見書	8
○一般質問	9
○採決の結果	20
○議会活動・編集後記	24

# 平成24年度 第5回出雲市議会（定例会）会期日程

**開会** 平成25年(2013)2月19日(火)

**閉会** 平成25年(2013)3月14日(木)

会期24日間

2月19日(火)	本会議（開会、議案上程・説明）	3月5日(火)	環境経済委員会
20日(水)	環境経済委員会	6日(水)	建設水道委員会
21日(木)	本会議（一般質問・1日目）	7日(木)	予算特別委員会
22日(金)	本会議（一般質問・2日目）	8日(金)	予算特別委員会
25日(月)	本会議（一般質問・3日目）	11日(月)	予算特別委員会
26日(火)	本会議（一般質問・4日目、議案質疑、委員会付託）、議会運営委員会	12日(火)	予算特別委員会
3月1日(金)	総務委員会	14日(木)	本会議（委員長報告、討論、採決、閉会）、文教厚生委員会、予算特別委員会
4日(月)	文教厚生委員会		

## 3月定例市議会 報告

平成25年度(2013)出雲市一般会計予算を可決するなど、70議案を議決しました。

### 議会の動き

3月定例市議会では、執行部から69件の議案が、また議員から1件の議案が提案されました。執行部提出議案として、「平成25年度（2013）出雲市一般会計」などの予算議案36件、「出雲市長等の給与の特例に関する条例」などの条例議案24件、「辺地に係る総合整備計画の策定及び変更について」などの一般議案8件、「人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて」の人事議案1件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決または同意しました。議員提出議案としては、「過労死防止基本法制定に関する意見書」の議案1件を提案し、原案のとおり可決しました。

## 平成25年度出雲市予算の総額

単位：千円

区分	平成25年度予算 (第1回補正後)	平成24年度 当初予算	増 減
一般会計	72,550,000	76,700,000	△4,150,000 (△5.4%)
特別会計	47,113,180	47,058,325	54,855 ( 0.1%)
合計	119,663,180	123,758,325	△4,095,145 (△3.3%)

# 新しい議員が決まりました

4月14日に執り行われた出雲市議会議員一般選挙において、当選した議員です。

議員定数は32名で、任期は平成25年(2013)4月17日から平成29年(2017)4月16日までです。

新正副議長や委員会構成などは、次号のいづも市議会だよりでお知らせします。

氏 名				
1	飯	塚	俊	之
2	板	垣	成	二
3	板	倉	明	弘
4	板	倉	一	郎
5	伊	藤	繁	満
6	井	原		優
7	遠	藤	力	かず一
8	大	国	陽	すけ介
9	大	谷	良	じ治
10	大	場	利	のぶ信
11	小	村	吉	いち一
12	勝	部	順	こ子
13	川	上	幸	ひろ博
14	岸		道	ぞう三
15	神	門		いたる至
16	古	福	康	まさ雅

氏 名				
17	坂	根		まもる守
18	多	々	納	つよと人
19	珍	部	全	ご吾
20	寺	本	淳	いち一
21	長	廻	とし	ゆき行
22	原		まさ	お雄
23	萬	代	てる	まさ正
24	福	島	たか	お雄
25	福	代	ひで	ひろ洋
26	保	科	たか	みつ充
27	松	村	ひで	と人
28	宮	本		とおる享
29	山	代	ひろ	し始
30	湯	浅	けい	じ史
31	米	山	ひろ	し志
32	渡	部		まさる勝

※敬称略。五十音順に掲載しています。

## 年賀状などのあいさつ状の禁止

公職選挙法により、議員は、当該選挙区の人に対し、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。(答礼のための自筆によるものは、除かれます。)

## 葬儀の際の花輪、供花の禁止

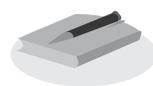
公職選挙法により、葬儀の際に花輪、供花を相手方に対して出すことは禁止されています。

## 代表焼香・弔電の自粛

市議会では、申し合わせにより葬儀の際の「参列者代表焼香」、「弔電」を自粛しています。皆さまのご理解をお願いします。

付託案件に対する

委員会・特別委員会報告



3月定例会の付託議案、請願・陳情などの審査状況のうち、主なものを掲載しています。

原稿はそれぞれの委員会で作成しています。

総務委員会

「出雲市財政計画の早急な見直しを  
求める陳情」を趣旨採択

議第111号「出雲市長等の給与の特例に関する条例」は、本市の危機的な財政状況から、市長・副市長などの給料月額及び期末手当を本年4月から当分の間減額するため、新たに条例を制定するものです。審査の結果、原案のとおり可決しました。

陳情第16号「出雲市財政計画の早急な見直しを求める陳情」は、「出雲市財政計画」において建設事業費の大幅な削減が示されたことにより、地域社会の雇用や経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念され、早急な見直しを求めるものです。審査の結果、本市の危機的な財政状況から、早急な見直しは難しい状況ですが、地域社会の雇用や



公共下水道の工事現場

経済への影響などを考慮し、状況によつては見直しを図る必要があることから、趣旨採択することに決定しました。なお、一部の委員から採択すべきとの意見がありました。

文教厚生委員会

国の法令改正に伴い条例案を可決

議第113号と議第114号は、介護保険に関わる出雲市指定地域密着型サービスの事業の人員などの基準を定める条例です。これまで、介護保険サービス事業者の指定基準などについては、厚生労働省令で全国一律に定められていました。このたび、地域の自主性や自立性を高めるため、第一次地域主権改革一括法が施行され、介護保険法の一部改正により、地方公共団体が条例で定めることとされました。これに伴い、新たに条例を制定するものです。審査

の結果、原案のとおり可決しました。次に、議第136号「出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例」についてです。本年2月に、国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が公布されました。特定同一世帯にかかる世帯別平等割の軽減措置については、現行の適用期間は5年間ですが、軽減割合を減額し、さらに3年間延長し、8年間となったことに伴う条例改正です。審査の結果、原案のとおり可決しました。

環境経済委員会

神戸川再生の陳情を趣旨採択

継続審査中の陳情第14号「神戸川再生についての陳情」は、神戸川の河川環境の改善を求める点については、委員全員賛同するものの、水利権の更新に同意すべきではないという本陳情の趣旨については、東日本

大震災以降、原子力発電所のあり方や再生可能エネルギーに対する国民の関心が高まる中で、直ちに水力発電を中止することへの懸念や、河川環境悪化と来島ダムとの因果関係について、現時点では客観的なデータ

で示されるに至っていません。このことから、原因究明に向けて今後調査を継続していく必要性や環境改善に向けて可能なことから段階的に取り組んでいくべきであるとの理由により、本陳情は趣旨採択することに

決定しました。

なお、一部の委員から採択すべきとの意見がありました。

また、流域住民と市長が十分に話し合うべきであるとの委員全員の一致した意見を、市長へ即日伝えました。

建設水道委員会

「市道八頭西線（仮称）整備に関する請願」を採択

請願第13号「市道八頭西線（仮称）整備に関する請願」

直江駅から旧県道木次直江停車場線付近の道路について、車両の通行をスムーズにし、安全確保をする

とともに区画整理や土地改良事業によって整備された道路と環状線に結ぶことにより、地域の活性化を目指す。指して斐川町の伊波野地区と出西地区を結ぶ、（仮称）八頭西線約300メートルの新設を求めるものです。

審査の結果、採択することに決定しました。なお、一部の委員から、現時点において合併前の斐川町から引き継いだ整備路線の中に入っていない状況であるものの、整備後の効果が認められる路線であるので、市の



（仮称）八頭西線予定地で請願者から説明を受ける

財政状況あるいは各路線の事業効果などを検討したうえで、整備路線の見直しを行うことも必要であるとの意見がありました。

議会運営委員会

反問権の導入に関する陳情を趣旨採択

継続審査となっていました本陳情について、この3月議会が現議員の最後の議会となるので、今議会で結論を出すべきとの判断から、再度の審査を行いました。

本陳情の要旨は、市長をはじめとする執行部に、議員の質問に対し問い返しすることができる「反問権」を付与することにより、議会と執行部に良い意味で緊張感が生まれ、議会の活性化にもつながると思われる

ことから、本市議会に早急に反問権を導入することを求めるものです。

反問権を導入することについては、質問の論点、争点が明確化されるところにも、議論の活性化が期待できることから異論はありませんでしたが、早急な導入については、改選後の議会において、さらに検討したうえで実施した方が良いという意見が多数を占めた結果、趣旨採択することに決定しました。

予算特別委員会

国の大型補正による25年度事業前倒し補正予算26億円

予算特別委員会に付託を受けた案件は、一般会計、特別会計及び企業会計の、それぞれ平成24年度補正予算や平成25年度当初予算及び補正予算あわせて36件であり、3月7日、8日、11日、12日、14日に委員会を開催しました。

委員会は、予算の編成方針や市

の財政状況など総括的な視点や、各予算の詳細にいたるまで、多岐にわたって質疑を行い、審査を行いました。

平成24年度一般会計補正予算は、決算見込みなどによる4億7300万円追加と、国の大型補正に伴う平成25年度事業の前倒しにより、6億8723万2千円を追加し、総額

を819億5313万2千円とする  
ものです。

また、平成25年度一般会計は、当初予算と平成24年度への事業前倒しに伴う補正予算により、予算の総額を725億5千万円とするものです。審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきと決定しました。

また、特別会計・企業会計についても審査し、いずれも原案のとおり可決すべきと決定しました。

なお、各委員から意見や指摘があ

りましたので、主なものを紹介します。

平成25年度出雲市一般会計予算については、福祉タクシーなど市民に負担を強いる一方で、斐川中央工業団地整備に多額の予算を投入する予算には反対との意見や、特別会計予算では、簡易水道の上水道統合整備は、今後水道使用料金の値上げにつながるとして、反対であるとの意見、また、財政難を理由に市民サービスの低下を招かないようこれまでの事業を十分に検証し、改善を求め

る意見がありました。

執行部に対しては、委員会での指

算の執行にあたるよう要望しました。摘・意見を十二分に踏まえ、適切な予

## 特別委員会報告

斐伊川・神戸川治水  
対策特別委員会

大詰めを迎えた放水路事業と周辺整備事業進捗へ調整・協議を重ねる

平成23年6月21日から委員会を5回、委員会協議会を13回、行政視察を4回、要望活動を1回、講演会を1回行うなど、治水事業の進捗状況を踏まえ調査・研究及び協議、そして審査を重ねてきました。

治水事業3点セットのうち、上流部の尾原・志津見の両ダムの完成、下流部の大橋川拡幅改修の具体的な工事着手、そして中流部の斐伊川放水路の整備と神戸川の拡幅改修については、分流堰の完成及びその操作規則などが整備され、平成24年度をもって放水路の基本的な工事を終えることとなりました。

残された神戸川河川敷の有効活用、小体育館・コミュニティ広場、

治水記念館、防災ステーション及び半分公園の整備、そしてグリーンステップの利活用などについても国・県・市、そして地域との協議により詰めていくこととなります。

昭和57年9月の事業計画同意以来30年の長きにわたり、地権者や地元関係者の皆さまはもとより国土交通省、島根県をはじめ各方面の団体や機関の皆さまの多大なるご理解とご協力のもと、この大事業がここまで進捗をしました。

このうえは、さらに斐伊川及び神戸川の治水安全度が増し、そして清流や潤いのある出雲市の財産として守り育てていただくよう切に願うものです。

### 主な予算案件内容

項目	予算額・補正予算額
平成24年度出雲市一般会計第6回補正予算	4億7,300万円
平成24年度特別会計7会計補正予算の総額(決算見込みによる補正)	4億6,710万円
・国民健康保険事業特別会計	4億9,700万円
・介護保険事業特別会計	7,870万円
・簡易水道事業特別会計	▲3,410万円
・下水道事業特別会計	▲6,700万円
・農業・漁業集落排水事業特別会計	▲710万円
・浄化槽設置事業特別会計	▲430万円
・廃棄物発電事業特別会計	3,900万円
平成24年度出雲市一般会計第7回補正予算(国の大型補正による補正)	6億8,723万2千円
平成24年度特別会計3会計補正予算の総額(国の大型補正による補正)	19億2,845万円
・簡易水道事業特別会計	5億7,951万円
・下水道事業特別会計	12億4,234万円
・農業・漁業集落排水事業特別会計	1億660万円
平成25年度出雲市一般会計予算	729億3,000万円
平成25年度特別会計16会計予算の総額	490億4,243万円
平成25年度出雲市一般会計第1回補正予算(国の大型補正による補正)	▲3億8,000万円
平成25年度特別会計3会計補正予算の総額(国の大型補正による補正) ※平成24年度補正予算と同様の会計及び同額の減額補正	▲19億2,825万円

項目		収入額	支出額
平成25年度 出雲市水道事業会計予算	収益的	26億5,269万3千円	25億5,470万2千円
	資本的	5億5,219万円	18億2,671万2千円
平成25年度 出雲市病院事業会計予算	収益的	28億5,630万円	32億100万円
	資本的	2億2,261万5千円	2億9,742万9千円

**総合交通対策  
特別委員会**

**時代に即した総合的な  
交通政策の制定を**

総合交通対策特別委員会の調査結果を調査対象別に報告します。

一畑電車に関しては、今後存続のため、公的支援の大幅な増額が予定されています。この支援に際し、本特別委員会では、透明性の確保、収支の改善、沿線住民への配慮などが必要だとの考えで一致しました。今後は出雲市議会としても、さらに詳細にチェックしていく必要があります。

山陰自動車道に関しては、出雲市中心部により近い場所で、新規にインターチェンジを設置できないか検討しました。調査の結果、費用対効果が設置基準を満たさないため、設置は難しいと判断しました。ただ

し、今後状況が変わり設置に具体性が出てくれば、機を逃さず再度検討すべきであると考えます。

出雲縁結び空港では運賃体系が山陽側の空港に比べて非常に割高となつていきます。このような差別的運賃設定が日常的に行われていることは大きな問題で、この解消に向け、早急に成果を上げる必要があります。

バス路線に関しては、市執行部から地域ごとに運行協議会を組織し、地元住民と行政が一緒になって、利用促進を図っていくなどの考えが示されました。出雲市はすでに超高齢化型社会を迎えており、時代に即した総合的な交通政策を早急に制定すべきです。

**観光産業振興  
特別委員会**

**恵まれた出雲の観光資源をより  
一層生かそう**

古事記千三百年記念の神話博しまねも成功裏の内に神話のふる里、出雲を中心に展開されました。それに

続き来る5月10日から「出雲大社平成の大遷宮」が挙行されようとしています。全国に発信できるわが出雲

のブランド「出雲大社」を中心にした観光資源は枚挙にいとまがありません。これをいかに生かし、市の発展に導くのが問われています。特別委員会では、これをテーマに活動し、その内容を報告します。県が主導した神話博に対し、市議会として鳥根県を除く中国4県全市に観光キャラバンを行い、出雲ブランドの普及に努めました。出雲大社の遷宮については、60年に一度の出雲観光の全国発信のチャンスとし、市を挙げて取り組むこととしました。

先進地の視察として、鹿児島県出水市の「ツルを生かした観光産業」の取り組み、指宿市の「PFI方式による道の駅整備」をテーマとし、本市のトキによる観光戦略や高速道の開通による市内の道の駅のあり方に大いに参考となりました。愛媛県宇和島市では全日空と連携しブランド化を目指し、高知県四万十市では四万十川を中心に広域観光戦略を進めていました。いずれも本市が目指すべき方向性でした。本市では、鰯淵寺や田儀櫻井家たたら遺跡の発掘調査を進めており、歴史文化の奥深さが、有力な出雲ブランドとなるように事業を推進してきました。

**原子力発電新エネルギー  
調査特別委員会**

**安全対策の強化と再生可能エネルギー**

特別委員会では、原子力防災体制の課題とその対応について調査を行ってきました。その結果、原発の新安全基準への対応や、中国電力株式会社と原発立地自治体なみの安全協会との締結、広域避難に向けた住民避難体制の整備など、課題は残されており、引き続き調査・検討が必要です。

また、新エネルギーでは今日までの普及啓発事業に留まることなく、今後はエネルギーの地産地消を進め、住民にインセンティブを与える施策の実現が必要であり、自給率目標を定めるなど、具体的な取り組みを推進すべきなどを委員会の結論としました。

## 請願・陳情の審議結果

### 【請 願】（今回提出された請願）

番号	件 名	提 出 者	審議結果
12	過労死防止基本法制定に関する意見書の提出を求める請願（意見書提出）	大阪市阿倍野区旭町 過労死防止基本法制定実行委員会 関西事務所 あべの総合法律事務所 弁護士 岩城 穰	<b>採 択</b> に 全員賛成
13	市道八頭西線（仮称）整備に関する請願	出雲市斐川町上直江 市道八頭西線建設期性同盟会 会長 阿川 博 他11名	<b>採 択</b> に 全員賛成

### 【陳 情】（継続審査中の陳情）

番号	件 名	提 出 者	審議結果
平成 23年度 16	島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情  <b>なぜ継続審査</b> さらに慎重な審査を必要とするため。	松江市母衣町 原発ゼロをめざす島根の会 共同代表 責任者 舟木 健治 他5名	<b>継続審査</b> に 賛成多数
平成 24年度 1	成立を目指している出雲市自治基本条例に関し、白紙撤回を求める陳情  <b>なぜ継続審査</b> 条例が提案された時点で、本陳情についても審議すべきであるため。	出雲市塩冶町 出雲市自治基本条例を考える市民の会 松谷 仁造	<b>継続審査</b> に 賛成多数
平成 24年度 10	反問権の導入に関する陳情	出雲市大津新崎町 森山 哲郎	<b>趣旨採択</b> に 賛成多数
平成 24年度 14	神戸川再生についての陳情	出雲市古志町 神戸川再生推進会議 会長 林 要一	<b>趣旨採択</b> に 賛成多数

### （今回提出された陳情）

番号	件 名	提 出 者	審議結果
15	旧宍道邸の利用計画に関する陳情  <b>なぜ不採択</b> 和文化交流センターや塩冶児童クラブとしての利活用は妥当であるため。	出雲市大津新崎町 森山 哲郎	<b>不採択</b> に 賛成多数
16	「出雲市財政計画」の早急な見直しを求める陳情	出雲市塩冶善行町 社団法人出雲市建設業協会 会長 今岡 余一良	<b>趣旨採択</b> に 賛成多数

## 意見書の審議結果

### 【意見書】

番号	件 名	審議結果
6	過労死防止基本法制定に関する意見書	<b>採 択</b> に 全員賛成

# 市政のここが聞きたい 一般質問

3月定例会市議会では25人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで（◎印のもの）掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

## 遠藤力一 議員 (10ページ)

- ◎ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者のショートステイについて
- ・若者の安定について
- ・学校図書館司書の配置について

## 大場利信 議員 (10ページ)

- ◎県道斐川上島線の全線開通について
- ・出雲いりすの丘公園の再生プロジェクト・チームについて
- ・斐川地域農業の推進体制について

## 勝部順子 議員 (10ページ)

- ◎通学路の安全対策について
- ・子育て環境の充実

## 米山広志 議員 (11ページ)

- ◎旧穴道邸の活用
- ・原子力安全協定の締結

## 曾田盛雄 議員 (11ページ)

- ・「出雲未来図」について問う。
- ◎老朽化した橋梁対策は

## 坂根 守 議員 (12ページ)

- ◎多伎いちじくの再生プロジェクトを
- ・プロフェッショナルな市役所職員の育成を

## 板倉明弘 議員 (12ページ)

- ・島根大学医学部附属病院の寄附講座の継続について
- ◎旧来原住宅の土地・建物の今後の取り扱いについて
- ・公園や街路樹の樹木管理について

## 板垣成二 議員 (13ページ)

- ◎神戸川の河川環境再生について

## 保科孝充 議員 (13ページ)

- ・「斐川中央工業団地西工区」の整備状況を問う。
- ・「出雲いりすの丘」再生計画の検討状況を問う。
- ◎高齢者世帯の安心安全施策を問う

## 井原 優 議員 (14ページ)

- ◎原発問題について
- ・斐川地域の生活バスについて
- ・学校再編計画について
- ・斐川中央工業団地の造成は中止し、市民のくらしと福祉の充実を

## 杉谷寿之 議員 (14ページ)

- ◎大社湾海岸の環境整備について

## 大国陽介 議員 (14ページ)

- ・市長の政治姿勢について（働く人の所得を増やし、経済危機の打開を）
- ◎介護保険の負担軽減とサービスの充実を
- ・外園海岸の浸食対策と防風林保全について
- ・神戸川の河川環境と来島ダムについて

## 荒木 孝 議員 (15ページ)

- ・「平成の合併」で誕生した出雲市の実態と評価について問う
- ・出雲市財政計画について
- ・地方公務員給与削減に対する見解を問う。
- ◎支所の組織・機構の見直しについて問う
- ・市役所挙げて禁煙啓発について

## 寺田昌弘 議員 (15ページ)

- ◎神戸川再生について

## 小村吉一 議員 (15ページ)

- ◎最近の市民の声の中から問う

## 井上恵夫 議員 (16ページ)

- ◎未来につなぐ農業振興策について
- ・自然を守る環境のまちづくりについて

## 原 隆利 議員 (16ページ)

- ◎財政悪化の原因は誰にあるか

## 松村豪人 議員 (17ページ)

- ◎出雲市財政計画と新年度の予算編成について

## 珍部全吾 議員

- ・長岡市政四年間の総括

## 伊藤繁満 議員 (17ページ)

- ◎出雲縁結び空港の欠航原因と利用客の確保について

## 萬代輝正 議員 (17ページ)

- ・出雲未来図の具体的な政策は
- ◎出雲市スポーツ振興ビジョンの具体策を問う

## 狩野正文 議員 (18ページ)

- ◎教育委員会所管の幼稚園、小学校、中学校における教職員による園児、児童、生徒に対する体罰について

## 直良昌幸 議員 (18ページ)

- ◎さらなる行財政改革の推進策について
- ・きめこまやかな教育行政の推進を
- ・“瑞々しいまちづくり”みどりの環境整備の充実を

## 板倉一郎 議員 (19ページ)

- ◎産業振興について
- ・公営墓地の取り組みについて
- ・中国大気汚染物質の注意報について

## 木佐 宏 議員 (19ページ)

- ◎長岡市政4年の歩み「市民の眼」で総括断崖絶壁脱出の道を質す



### ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者のレスパイト事業拡充を

遠藤 力一

問

ALS（筋萎縮性側索硬化症）は50代から60代に発症する神経性の病気のため、患者の家族も50〜60代と高齢で、患者本人のつらさとともに、看病する家族も大変厳しい生活をしている。

そのためレスパイト事業（一時入院支援事業）という、患者家族に休息を与えて活力のある生活を送っていただく事業が、国、県合わせて年間28日間実施されている。

家族から、もう少し長い休息時間を持つことができないかと、要望をいただいた。かなえることができないか伺う。

健康福祉部長

市内で、21名の方がALSに罹

患、うち6名の方が入院等、15名の方が在宅で療養をされ、うち11名の方が人工呼吸器を装着されています。

病院としては、意思疎通の困難さに加え体位変換、たんの吸引などの症状進行に応じた看護体制や夜勤看護での加配が必要なため、受け入れ体制が整わない状態です。

患者の家族が安心して休養できる体制の充実が求められていることは十分認識しています。

県では「レスパイト入院」がさらに受け入れやすくなる改善策を検討されており、市の日数の上乘せも含め、国・県に要望し、受け入れ体制の確保を検討していきます。



### 県道斐川上島線の早期の全線開通を

大場 利信

問

県道斐川上島線の現在の整備状況と今後の整備スケジュールについて伺う。

都市建設部長

阿宮地区側は、平成8年から改良事業を実施し、現在残りの1・1キロメートルの区間を実施中で、平成

20年代後半の完成を目指し整備がなされると聞いています。

問

阿宮地区側の整備が完了した後の整備スケジュールを伺う。

都市建設部長

中間部の2・1キロメートルの区間は、トンネルや橋梁などの重要構造物で事業規模が大きいため、阿宮地区側の整備の完了のめどが立った時点で着手時期の検討を行うと伺っています。

問

県に対し積極的に要望すべきと考えるが、その決意を伺う。

都市建設部長

この路線は、阿宮地区の生活道路で、出雲市南部地域から斐川インターチェンジへのアクセス道路であり、また、企業への通勤道路としての役割が期待される重要路線であると認識をしています。市としまして



### 出雲市の通学路の安全対策は万全か

勝部 順子

問

国が通学路の安全点検を行い、その結果を公表した。調査対象になった8万161カ所の通学路のうち、9割以上で対策が必要と判明した。国は、2013年度予

算に通学路の安全対策予算を盛り込んだ。出雲市における調査結果と、今後の取り組みを伺う。

都市建設部長

点検の結果、35カ所について対策



道路改良工事が進む県道斐川上島線（上阿宮地区）

は、毎年の知事への重点要望とともに、今後も「斐川雲南間県道改良整備促進期成同盟会」とも歩調を合わせ、早期完成に向け、引き続き要望していきたいと考えています。

を講じることにしました。そのうち17カ所は、本年度内に施工完了の予定です。また、16カ所は、施工中ですが来年度以降も事業継続の計画です。残り2カ所については来年度以降対策を講じます。対策内容は、危険な交差点などにおいて信号機、横断歩道及び道路照明の設置などを行います。

また、今後の実施については、国の24年度補正予算に合わせ創設が予定されている防災・安全交付金（仮

称）などを積極的に活用します。

### 問

市内の35カ所の通学路で対策が必要とのことだが、これ以外にはなかったのか。

### 都市建設部長

全校へ通知をし、提出された中から合同点検をしました。まだ提出されていない箇所もあるので、平成25年度から交通安全対策協議会から小中学校に意見を聴き、提出していただくようにします。



## 旧穴道郎の有効活用 なぜ債務負担行為を未提出か

米山 広志

### 問

昨年の12月12日の環境経済委員会にて執行部から、「旧穴道郎を有効活用していくため、和文化交流センター（仮称）として整備し、同敷地内に児童クラブを併設する方向で検討を進めている。なお、進入路など確保のため旧穴道郎北側民有地を取得する予定。平成25年3月議会に債務負担行為提出」との報告があった。

①3月議会に債務負担行為を提出されなかった理由②今後のスケジュールを伺う。

### 文化環境部長

①土地開発公社が先行取得するため



旧穴道郎（塩冶町）

に、3月議会で債務負担行為を提出することとしていました。その後の

検討により、平成25年度中に市が直接取得することとし、6月議会に補正予算を提出したいと考えています。②今後のスケジュールについては大きな変更はなく、平成25年度に北側民有地を取得し、道路・駐車場工事を行い、平成26年度に旧穴道郎



## 老朽化した橋梁対策は

曾田 盛雄

### 問

①出雲市全体の国、県、市それぞれの所管橋梁の全体数。

②コンクリートの寿命といわれる50年以上経過して老朽化した耐震限度以下の橋梁数。

③安全点検対策の進め方。

④橋脚、基礎が著しく弱いと見受けられるヒューム管を立てた程度の橋脚、例えば平田湖遊館近くの外島大橋をはじめ、その他緊急を要する橋梁対策の進め方。

⑤政権交代した自民党、安倍現政府はインフラの老朽化対策や防災・減災を推進する国土強靱化への積極的な財政措置も検討実施すると聞くが、出雲市の対応と実施計画があれば伺う。

### 都市建設部長

①長寿命化修繕計画対象とされている

母屋を解体し、和文化交流センター（仮称）の整備を行い、平成27年度に開館したいと考えています。児童クラブ整備については、国が検討している「子ども・子育て新システム」にあわせて市が策定する「子ども・子育て支援事業計画」に基づき平成27年度以降の整備を検討していきます。



建設後40年が経過、補修が急がれる外島大橋

る15メートル以上の橋の数は、国は42、県は132、市は377あります。  
 ②補修が必要であると判断された橋は、市が3、国が2、県が9橋です。  
 ③平成22年度に15メートル以上の200橋を対象に長寿命化修繕計画を作成し、現在点検を進めています。

④外島大橋のような建設後40年が経過するような橋の補修は計画的に行います。  
 ⑤橋梁長寿命化補修計画に基づく補修は、来年度末を目途にまずは修繕計画を立てて、新たな国の交付金制度も活用しながら積極的に進める考えです。



### 多伎いちじくの再生プロジェクトを

坂根 守

#### 問

多伎いちじくは、「蓬萊柿」という品種でも糖度が高く、平成15年には県のブランド産品5品の一つに指定された。

いちじくは日持ちがしない、雨が降れば生果として出荷できない問題点があり、加工品が色々と開発されており、ワインシロップ煮は農林水産大臣賞を受賞した。2011年度のフランス・ヴェゼノーブル市のいちじく収穫祭では干しいちじくが最優秀賞になった。生産額は平成18年度から1億円を3年間記録したが、平成22年度からは7千万円台で低迷している。再生プロジェクトを立ち上げ生産額を上げる取り組みをすべきと考える。

#### 農林水産調整監

多伎いちじく生産部会の加入者は



特産品多伎いちじく

減少傾向にあり、生産者の高齢化に伴う担い手の確保は最重要課題です。いちじく再生プロジェクトについて

ては、現在JAにおいて検討中であり、行政とも再生に向けての下協議を行っています。  
 行政やJA・生産者がともに問題意識を共有し、産地再生に向けた具

体的な方策を検討する場を、他の関係機関にも働きかけて実現します。プロジェクトの中で、後継者の問題や栽培技術の普及指導体制についても検討します。



### 廃屋化している旧市営来原住宅の早期対応を

板倉 明弘

#### 問

旧市営来原住宅は、平成18年10月に廃止された。廃屋化している建物は、景観的にも、防犯上においても不適切である。建物は早期に撤去し、約7千平方メートルの跡地は、宅地化すべきと思う。当初方針とその後経過、今後の取り扱方針を伺う。

ら、速やかに民間事業者などと連携を図り、戸建て住宅用地として売却したいと考えています。

#### 財政部長

この住宅は、建物と土地を一体として民間に売却し、良好な住環境の戸建て分譲宅地を供給する方針でした。その後、民間事業者と協議を重ねましたが、業者側の採算には合わないことから不調に終わっています。現在、市で維持管理しています。経年変化による景観上や常時管理ができないことは防犯上の問題もあるため、できるだけ早く建物を撤去したいと考えています。

撤去後は、市有財産の有効活用、あるいは財源確保といった観点か



6年以上放置されている旧市営来原住宅



## 神戸川の河川環境再生に向けての 取り組みを

板垣 成一

**問** 中国電力の神戸川水利使用の期限が3月31日に迫り、県が設置された専門委員会の報告もあつた。中電の水利使用、ならびに神戸川の河川環境再生のため市長はどう対応されるのか。

**市長**

専門委員会の報告では、河川環境の悪化などの因果関係が明確になっていません。今の段階で来島ダムからの分水を完全に止めることは難しい状況です。水量・水質などの改善、漁獲の復活に向け、現実的な対策を国・県・中電に強く求めていきます。

**問** 平成9年の改正河川法を受け、分水に対する弁護士の見解は。

**農林水産調整監**

来島ダムからの放流と河川環境の悪化の因果関係が証明されない限り、分水の中止はできないというのが全国市長会の顧問弁護士の見解です。

**問** 専門委員会の報告では、来島ダムからの放流量を数年間増量し、水質や生物などの調査分析を



神戸川の状況 (佐田町上橋波)

行うという方針が示されている。調査分析の結果が満足できるものできなかった場合、市長は、分水中止の働きかけをする考えがあるのか。

**市長**

選択肢の一つとしてありますが、早急にこの段階では言えません。さまざまな角度から、また、多くの皆さんのご意見を伺って、最終的な方向を定めていきます。



## 高齢者の安心・安全 買い物支援・ごみ捨て支援を

保科 孝充

**問**

高齢者が増加していく中で、「買い物・ごみ捨て」支援を求める声がある。コミセン・社会福祉協議会と協力して高齢者の安心・安全に貢献されたい。年々香典返しは少なくなっているようだが、具体的に「買い物支援・ごみ捨て支援」の施策を示せば市民もその必要性を認め、増加するのではないか。

以前は買い物支援として「移動購買車・ママさん号」などがあって重宝されていた。10キロもするごみ袋を指定場所へ移動するのも大変だ。事業者への補助金の支給など、1、2か所モデル地域を設置して試験的に実施されたい。

**健康福祉部長**

高齢化が進む中で、効果的な助け合い実現のために、市、社会福祉協議会、コミセン、自治会などの連携が不可欠となっています。今後、日常生活をサポートできる仕組みづくりについてモデル地区の提案も含めて相談していきます。また、他の先進事例も参考にします。

社会福祉協議会では、商品を配達する商店、自動車で訪問販売する事業者、弁当の配達、理容・美容の出

張サービスなどが可能な店の情報を、インターネット(「てごナビ」)などで提供しています。毎月4500件の利用があると聞いています。



出雲市社会福祉協議会のホームページ「てごナビ」高齢者安心支援センター



**原発事故から2年、再生エネルギーの推進、避難計画の具体化を伺う**

井原 優

**問**

東日本大震災から2年が経過したが、被災地は、生活再建もままならぬ深刻な状況である。原子力規制委員会は「新安全基準」をまとめたが、電源喪失・地震や津波などへの肝心な対策が不十分である。原発ゼロの立場を抜きにした安全基準づくりは、新たな安全神話そのものでしかない。

将来に向け、根本的なエネルギー政策の転換が急務である。本市での取り組みはいかがか。

「広域避難計画」は具体性に欠け、福祉施設入所者など要保護者の行き先に、関東、九州なども含まれ多くの課題と不安がある。所見を伺う。

**防災安全管理監**

本年2月6日「新しい安全基準の骨子案」が策定されました。これは原子力発電所を稼働するうえで最低限の安全基準として示されており、今後の協議経過を注視していきます。

原子力発電に過度に依存しないエネルギー政策への転換が必要であり、本市では、太陽光発電やバイオマス資源の利用促進、中小水力発電の事業展開などを検討します。脱原発を実現するには時間を要し、長期にリスクと向かい合わせるを得ません。広域避難計画は、問題点がさまざまあり、国・県・市の役割を整理し実効性のある方策が必要と考えます。



**大社湾海岸の環境変化にどのように対応するのか**

杉谷 寿之

**問**

神話で名高い蘆の長浜、湊原、稲佐浜の環境が大変悪化している。海岸浸食や微砂の問題、海岸保安林の消滅や漂流ゴミの堆積など。一

方では漁場の変化は著しく、ハマグリやバイ貝が採れなくなりアミエビや鯛が姿を消した。海藻が減りモズクやアワビが少なくなった。このような変

化をどのように把握しているのか。現在、神戸川流域の環境悪化が問題になり、来島ダムの2億トンの水を神戸川に戻せとの陳情が出ている。山と川と海は互いに連携し自然を豊かに育んでいる。大局的な見地で神戸川の水は元に戻すべきと考えるがどうか。

**農林水産調整監**

海岸浸食については、県事業として護岸工事や海岸保全施設の整備を進め、大社漁港のしゅんせつ砂を再利用し対応しています。飛砂対策では海岸環境整備事業を平成15年に行い、「きづき海浜公園」とし、今後この延長整備を目指しています。海岸林の対策は、その復元に向け細かい虫対策事業を進めます。

**市長**

森と川と海の環境問題の捉え方に



**介護負担の軽減とサービスの充実を**

大國 陽介

**問**

特別養護老人ホームの増設を求める声は大きく、切実なものがあり、定員増を求める。また、介護保険の生活支援が15分短縮され、45分になったことで、現場の方や利用者の方から「買い物したら他に何もできない」、「大切なコミュニケーションの時間がとれない」といった声が寄せ



浸食が進む外園海岸

については同感で、漁業者が森林に対する活動をされていることは承知しています。環境変化は複合的でそれらを一つずつ除く必要があります。神戸川の水問題は今後の影響を総合的に考え最終的な方向を出します。

られている。実態調査とともに必要な改善を求める。

高騰の続く介護保険料は生活を圧迫している。以前、(当時の)市長は「保険料というのは4千円台後半はあっても5千円はないだろう」という答弁をされたが、今は5千円を超えている。実態調査とともに、保険料の引

き下げや減免制度の充実を求める。  
**健康福祉部長**

昨年7月1日現在で、特養ホームは1026床あり、待機者は1251人。在宅の待機者の方のうち、要介護3から5までの方は297人です。施設整備について、第5期介護保険事業計画の中で特養を30床増設するほか、老人保健施設などの整備を行い、第6

期計画の策定の中でさらに検討します。

生活援助の時間が短縮されたことについては、市に対して利用者や事業者などからの苦情もなく、混乱なくサービスが提供されていると思います。しかし、今後、関係団体などを通じながら利用者や事業者などの状況の把握に努めます。



**支所の組織・機構の見直しを伺う**

荒木 孝

**問**

出雲市の財政は危険水域にある。厳しい財政状況のなか、出雲市財政計画が公表され、さらなる行財政改革の推進施策が示された。このような背景の中で支所の組織・機構の見直しを進めようとしている。

大きく変わった出雲市の組織・機構は、法定合併協議会で本庁・支所方式で行政サービスを行うことが確認されスタートしている。

行財政改革の視点だけでとらえず、各地域における支所の存在価値を明確にし、地域の拠点として高く評価し、大事にする視点からの議論が必要だ。

**総合政策部長**

合併以降、組織のスリム化、総人件費の抑制などに取り組み、住民サービスを効率的に提供し、新たな行政課題

にも柔軟に対応するため、支所はもとより、本庁も含めた行政組織の効率化を段階的に進めています。

この度  
の見直し  
では、地  
域の皆さ  
んが一番  
求めている  
窓口業  
務を中心  
とした基  
本的な役  
割を重点  
的に支所  
で担うよ



佐田支所

う進めています。

支所の見直しについては、各地域協

議会の意見も伺いながら検討してきました。



**母なる清流神戸川の環境悪化を検証すべき**

寺田 昌弘

**問**

神戸川の河川環境を改善するには来島ダムによる取水を是

正しなければならぬと考えるが。

① 濁水時における発電用水と農業用水との河川法上の優先順位は。

② 漁業権の設定が十間川にあり、神戸川にはないため該当しません。

② 神西湖漁協は、神戸川の関係河川使用者ではないか。

③ 神戸川の環境悪化に対する住民の不满、不安は承知しています。水利権更新を止めるには、水質悪化と来島ダムとの因果関係を立証しなければなりません。そのためには、当面、できる限り多くの水量を神戸川に戻してもらい、河川環境の改善に向け調査などを継続実施し、さらに必要な対応を検証するという、段階的な対応が現実的ではないかと思えます。

③ 水利権更新にあたっての市長の考えは。水を戻してもらおう運動の先頭に立つべきではないか。

また、神戸川全川の国直轄管理というかたちで浄化などにつなげていきたいと考えます。

**農林水産調整監**

① 通常は流水の占用許可を受けた順番であり、本河川では、原則農業用水が優先します。互譲の精神をもって協調して河川使用を行うべきともされています。



**近頃の市民の声の中から**

小村 吉一

**問**

市立総合医療センターの正面入り口の自動ドアが近距離で

二重になっていて、開いた状態が多く大変寒い。その応急の改善と根本

### 総合政策部長

出入り口が北向きで患者の皆さんには、寒さの点で不便をかけています。出入り口の位置や形状変更など抜本的な対策は、多額な費用が伴うので現段階では困難ですが、暖房機器、風よけつい立て、待合室の配置変更など行っています。また、ひざ掛けも用意して、ご利用いただいています。

### 問

支所の見直しは、最終段階に入っているとと思うが、市民に接する最前線としての支所の役割が十分に確保されているのか伺う。

### 総合政策部長

窓口業務機能、防災拠点機能などを中心に、本庁と支所のあり方や体制を中心に検討しています。支所の役割は確保されていると考えています。

### 問

平田支所の場合でも、この8年間に、大変多くの職員が削減され、空き部屋だらけになっている。支所は、市民の安心感にもつながるため、これ以上の職員の削減は、やめていただきたいと考えるが、どうか。

### 総合政策部長

人員削減は、斐川支所を含めて30数名まで詰めていますが、今しばらく時間をいただきたいと考えます。



## 未来につながる農業振興策を伺いたい

井上 恵夫

### 問

「新たな出雲の國づくり計画」が創造され、未来につながる農工商バランスのとれた都市づくりを期待している。

- ① 農林水産業の振興策により農業経営が安定し、地域経済の活性化につながる未来農業への方向性
- ② 農業者が抱えている担い手不足による離農対策や高齢化による特産農

### 市長

①本市の農業振興については県内最大の穀倉地帯で、農業産出額は県内の4分の1を占める本市の基幹産業であり、集落の維持を図るうえでも重要です。

農業者の高齢化で担い手不足、遊休農地などの問題が顕在化していることは事実です。具体的には、担い手対策、経営基盤強化対策、特産振興を3つの柱として施策の展開を図っていくべきと考えています。



## 財政危機はだれの責任か

原 隆利

### 問

出雲市は未曾有の財政危機に陥った。この責任はだれにあると思うか。市長が、議員か、それとも選んだ市民か。

地方自治法の138条の2項以下に権限が明記されている。「首長は、地方公共団体を総括し、これを代表して地方公共団体の事務を自らの判断と責任で管理し執行する。」自らの判断と責任が強調されているのは、他の機関、とりわけ議会からの干渉や指図にとらわれないことを意味している。明らかに市長が最終的な責任を負うことが明記されているが、いかがか。

### 市長

市長に与えられた権限は、相当大きなものがありますが、議会の皆さまに納得いただけるような形でな

②担い手対策は地域環境に応じた多目的な育成を図り、農地利用集積円滑化事業を活用し経営の多角化と3F・産地拡大事業を活用して6次産業につながる農業経営の安定により未来農業への実現を図ります。

ければ、何事も自分の判断で全てを決めていくということではできません。住民の代表である議会の大方の皆さまのご理解があつて、はじめてものが決まっていくと考えています。ともあれ、我々の次の世代に、大きな負担を残さない、そのために頑張っていく覚悟をしたところですので、どうぞご理解をいただけたらと思います。



市民向け財政白書



限られた財源で、中小企業を  
どう支援するのか

松村 豪人

問

平成25年度当初予算編成の基本的な考え方が示された。歳出全般にわたる徹底的な経費削減や、行財政改革を図る一方で、限られた財源で最大限の効果が発揮できるように配慮したとのことである。

中小企業の資金繰りを支援する金融円滑化法の期限が、この3月末に迫っているが、全国的にも倒産急増のおそれが高まっている状況で、本市の中小企業にとっても厳しい経営環境となることが予想される。このような状況のなか、市として少ない財政出動で、どのような支援、対策を講じていくのか。

産業観光部長

県では、金融円滑化法の終了を見据え、さまざまな支援の実施が検討されており、市も県と連携して支援を行います。県制度融資においては、資金繰り安定化対応資金の取扱期間の延長や、経営改善長期借換資金と経営力強化支援資金が新たに創設されました。市では、これら二つの県制度融資にも、中小企業信用保証料の補助を行います。また、円滑化法終了により影響が懸念する企業に対して、商工団体、金融機関などを構成団体とする連絡協議会を設置し、具体的な企業支援を行います。



出雲縁結び空港の欠航原因を  
改善し利用客の増加対策を早急に

伊藤 繁満

問

当該空港を利用する観光、ビジネス客などは年々減少している。しかも、ここ近年はピーク時(平成14年、77万8千人)から14万人も減少している。今後、誘客対策として、東南アジア方面

など海外からの誘客や、空港を活用した朝市の開催など多様な企画と実行が急務である。また、近年欠航が相次いでおり、この2か年は極めて多く発生し、平成22年度で143回、平成23年度で214回

となっており、その多くが出雲・大阪間のサブ機で、利用客に大きな迷惑が及んでいる。改善策を早急に立て利用客の信頼感、安全安心につなげることが重要である。併せてバードストライク(航空機への野鳥衝突)の抜本的対策を求めらる。

総合政策部長

本市としては21世紀出雲空港利用促進協議会による利用促進対策として、安全安心を前提に機材の中型化などによる総座席数の確保や、休止している名古屋便、札幌便の復活など積極的に取り組んでいきたいと考えています。また、欠航については、その多くが防水装置の不具合であると聞いており、重要な問題であると認識しています。運航事業者に対し機材点検のさらなる強化や機材の変更など、安全安心な運航を要望しています。バードストライクの防止については実弾による駆除再開、



スポーツ振興ビジョンの具体策は

萬代 輝正

問

今期の4年間でスポーツ振興に関して6回の質問をした。今回は、「出雲市スポーツ振興基本計画」後期の策定を経て、大型施設の整備の方向性について出雲市スポー

定期的なバードパトロールの導入を検討しています。



拠点空港として活性化が期待される出雲縁結び空港

ツ振興審議会から市に答申された「出雲市スポーツ振興ビジョン」の具体策について、市としての意気込みを伺う。

文化環境部長

出雲体育館と平田体育館については、老朽化が進行しており、早期建て替えが必要であり、両施設を統合し、シンボリックな大規模体育館の建設が望ましいとの答申が審議会からありました。市としては、県立浜山公園のカミアリーナとの連携、周辺部の体育館との役割分担を視野に入れながら、その規模や機能を検討していきたいと考えています。

サッカーグラウンドの関係では、天然芝は足腰への負担が少ないという長所もありますが、冬場は養生のため、利用が制限されるという短所もあります。一方で、人工芝グラウンドは年間を通じて利用が可能であり、水はけも良く利便性もあります。サッカーを主としながらも、フットサルやグラウンドゴルフなど、年間を通じて多目的に利用ができる人工芝グラウンドの整備を検討していきたいと考えています。



幼稚園、小・中学校における  
教職員の体罰を問う

狩野 正文

問

大阪市立桜宮高等学校での、部活動顧問から体罰を受けた生徒が、自らの命を絶つという痛ましい事案の発生や、全日本柔道連盟が、柔道の全日本女子代表選手から、暴力・パワーハラスメント行為などを訴える告発が報道されている。そこで、本市における教職員の体罰について3点伺う。  
①教職員の体罰の実態について現状はどうか。  
②体罰にかかる指導を現場関係者に行っているのか。  
③教育における体罰をどのように考えているのか。

教育部長

①体罰は決して許すことのできない人権侵害であるという姿勢で、学校に指導を行っています。したがって、大阪市の事案が発生する以前から、体罰防止の指導をしてきています。  
②平成23年6月には、体罰に関する教育長コメント「体罰は、法律で禁止されており、決して許されない行為であり、教育や生徒指導とは相入れない暴力であること。体罰を行った場合は報告すること。」を発しています。  
③これを受け、各学校では、教職員の人権意識の高揚と指導力の向上に努めています。



改善・改善・またカイゼンを

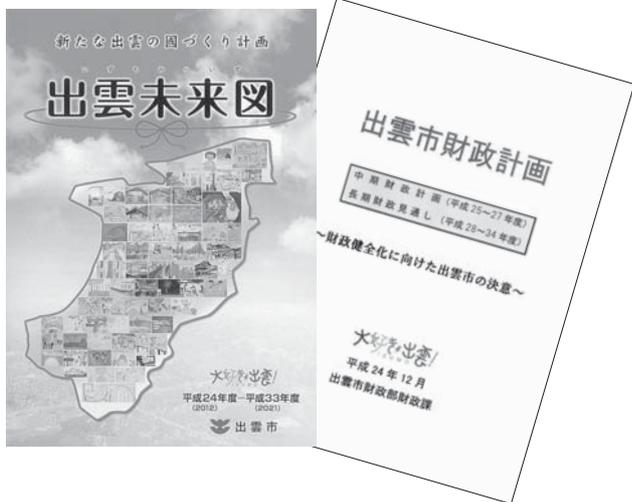
直良 昌幸

問

斐川町と合併し、新年度を迎えるにあたり出雲市の総合基本計画「出雲未来図」が発表された。近い将来、行政マネージメントの手法が大きく変化していくことが予測される今日、本市の財政改革をさらに加速するために一つとして、市が設置した800を超える公共施設と上下水道や道路などのインフラ施設のデータを早急に一元化すべきと考える。

市長

二つとして、市が外部委託している104カ所の指定管理事業の再点検をすべきと考えるが所見を伺う。  
現在の厳しい財政状況からの一日も早い脱却を図るために、徹底した事務事業の見直しに取り組みます。今後、将来の修繕費や更新経費などを把握するためには市のすべての公共施設を見通すデータが必要です。現状では公共施設やインフラ施設については台帳を整備し、所管課ごとにデータの管理をしています。今後、効率的で実用的な財産管理の仕組みとして、一元管理について検討したいと思います。指定管理事業の見直しについても先日の外部監査委員からの指摘事項を含め、法的な制約をはじめさまざまな角度から検討して事業の改善に反映していきます。



次世代のための新生！  
再生のまちづくり計画—有言実行を！



積極的な産業振興支援を

板倉 一郎

問

産業振興について次の質問をし、市長の考えを伺う。

①財政健全化や持続可能な財政運営を行うことを目的に策定された財政計画では、公共事業費を抑制する考えが示されており、今後は民間投資を喚起する政策が必要と考える。市長の考えを伺う。

②3月末に、尾道松江線のうち、広島県三次市から三刀屋木次インターチェンジまでが開通する。このことを産業振興にどのように活用するの

市長

①集中整備してきた社会基盤を生かしながら、新たな民間投資を誘導しています。市内の商工業者の投資誘導が行えるような新製品の開発、また、農商工連携、異業種交流などを促進するとともに、全国へ本市の魅力を発信し、さまざまな誘致に取り組んでいかなければならないと考えています。

②本市の産業観光振興にとって大きなチャンスと考えています。広島、岡山、さらに四国地方で、積極的な誘致活動を促進していきます。また、広島県北部も出雲の商圏に取り



商店が増えてきた神門通り

込むように、小売業の魅力アップの取り組みをサポートしていきます。観光面では、高速道路網を活用した多様な観光バリエーションを広くアピールしたいと考えています。

問

3番目、緊急課題である避難道路計画は全く示されない一方、財政難の下で計画に挙げなくて良い高額道路改良事業が連続発注、情報公開し解析したら、平成の世直し人の指摘どおり、緊急性なし、特定業者受注、工事手法膨大なかさ上げ、中には歴然と談合落札を否定できない事実も、県内一番の利権誘導、汚れ切った出雲市政がこの4年間でさらに増強、巧妙と悪政の進化はとどまるところを失っている。

都市建設部長

島根原子力発電所避難道路について、大野本線から西へ進み、伊野川を渡って伊野本線を横断し、国道431号線島根ゴルフ場入口までの美野本線の計画、本市の美野本線については、平成20年度から、平成29年度までの10年計画を基本に、地元との協力体制、合意形成が図られた上で整備をすすめることにしています。

問

島根原発の避難道路問題、私は合併前に市長に伊野の玄関口として、そして国富の旅伏駅の所の避難道路踏切の拡張も、5年経つ



長岡市政4年の歩み「市民の眼」で総括、断崖絶壁脱出の道を質す

木佐 宏

問

でも10年経ってもあなたの主体性の無い答弁。西尾前市長、野津前副市長、森山前部長だったらもうとんどできてますよ。

市長

島根県が策定した原子力災害に備えた広域避難計画に避難ルートが設定されていません。



利権絡み浪費続行・大野本線～美野本線經由国道431号不可避・原発避難道路は10年放置



番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
諮第4号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて（梶谷順氏、加地崇志氏、渡部洋子氏）	同 意	36	0
議第69号	平成24年度（2012）出雲市一般会計第6回補正予算	原案可決	35	1
議第70号	平成24年度（2012）出雲市国民健康保険事業特別会計第3回補正予算	原案可決	36	0
議第71号	平成24年度（2012）出雲市介護保険事業特別会計第4回補正予算	原案可決	36	0
議第72号	平成24年度（2012）出雲市簡易水道事業特別会計第2回補正予算	原案可決	36	0
議第73号	平成24年度（2012）出雲市下水道事業特別会計第4回補正予算	原案可決	36	0
議第74号	平成24年度（2012）出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第2回補正予算	原案可決	36	0
議第75号	平成24年度（2012）出雲市浄化槽設置事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第76号	平成24年度（2012）出雲市廃棄物発電事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第77号	平成24年度（2012）出雲市水道事業会計第2回補正予算	原案可決	36	0
議第78号	平成25年度（2013）出雲市一般会計予算	原案可決	32	4
議第79号	平成25年度（2013）出雲市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	33	3
議第80号	平成25年度（2013）出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第81号	平成25年度（2013）出雲市診療所事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第82号	平成25年度（2013）出雲市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	32	4
議第83号	平成25年度（2013）出雲市介護保険事業特別会計予算	原案可決	33	3
議第84号	平成25年度（2013）出雲市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	33	3
議第85号	平成25年度（2013）出雲市下水道事業特別会計予算	原案可決	33	3
議第86号	平成25年度（2013）出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第87号	平成25年度（2013）出雲市浄化槽設置事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第88号	平成25年度（2013）出雲市風力発電事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第89号	平成25年度（2013）出雲市ご縁ネット事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第90号	平成25年度（2013）出雲市企業用地造成事業特別会計予算	原案可決	33	3
議第91号	平成25年度（2013）出雲市駐車場事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第92号	平成25年度（2013）出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第93号	平成25年度（2013）出雲市高野令一育英奨学事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第94号	平成25年度（2013）出雲市廃棄物発電事業特別会計予算	原案可決	36	0
議第95号	平成25年度（2013）出雲市水道事業会計予算	原案可決	33	3
議第96号	平成25年度（2013）出雲市病院事業会計予算	原案可決	36	0
議第97号	出雲市土地開発基金条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第98号	出雲市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第99号	出雲市児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第100号	出雲市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第101号	出雲市ご縁広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第102号	出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第103号	出雲市小集落改良住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第104号	出雲市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第105号	出雲市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第106号	出雲市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
議第107号	出雲市一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	32	4
議第108号	出雲市民会館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	33	3
議第109号	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	36	0

番 号	大場利信	井原優	伊藤繁満	保科孝充	井上恵夫	多々納弘	飯塚俊之	板垣成二	狩野正文	木佐宏	西村亮	小村吉一	大国陽介	松村豪人	遠藤力一	山根貞守	萬代輝正	板倉一郎	多々納剛人	川上幸博	曾田盛雄	福代秀洋	広戸恭一	直良昌幸	坂根守	板倉明弘	勝部順子	米山広志	山代裕始	原隆利	多久和康司	荒木孝	長廻利行	古福康雅	珍部全吾	杉谷寿之	寺田昌弘	宮本享			
議第110号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第111号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第112号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第113号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第114号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第115号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第116号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第117号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第118号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第119号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第120号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第121号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第122号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第123号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第124号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第125号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第126号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第127号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第128号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第129号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第130号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第131号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第132号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第133号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第134号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第135号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第136号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第15号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【継続審査中の請願・陳情】																																									
平成23年度陳情第16号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第1号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第14号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

議長

○：賛成、●：反対、-：欠席・棄権

番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
議第110号	出雲市多伎介護予防リハビリテーションセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	原案可決	33	3
議第111号	出雲市長等の給与の特例に関する条例	原案可決	32	4
議第112号	出雲市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例	原案可決	33	3
議第113号	出雲市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	33	3
議第114号	出雲市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	原案可決	33	3
議第115号	出雲市道の構造の技術的基準等を定める条例	原案可決	36	0
議第116号	出雲市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	原案可決	36	0
議第117号	出雲市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	原案可決	36	0
議第118号	出雲市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	原案可決	36	0
議第119号	出雲市新型インフルエンザ等対策本部条例	原案可決	36	0
議第120号	辺地に係る総合整備計画の策定及び変更について	原案可決	36	0
議第121号	出雲市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	36	0
議第122号	公の施設の指定管理者の指定について（出雲市多伎介護予防リハビリテーションセンター）	原案可決	36	0
議第123号	財産の無償譲渡について（出雲市多伎介護予防リハビリテーションセンター）	原案可決	32	4
議第124号	包括外部監査契約の締結について	原案可決	36	0
議第125号	建物の取得について（出雲市ご縁広場公衆トイレ）	原案可決	36	0
議第126号	市道路線の廃止について	原案可決	36	0
議第127号	市道路線の認定について	原案可決	36	0
議第128号	平成24年度（2012）出雲市一般会計第7回補正予算	原案可決	36	0
議第129号	平成24年度（2012）出雲市簡易水道事業特別会計第3回補正予算	原案可決	33	3
議第130号	平成24年度（2012）出雲市下水道事業特別会計第5回補正予算	原案可決	36	0
議第131号	平成24年度（2012）出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第3回補正予算	原案可決	36	0
議第132号	平成25年度（2013）出雲市一般会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第133号	平成25年度（2013）出雲市簡易水道事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第134号	平成25年度（2013）出雲市下水道事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第135号	平成25年度（2013）出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第1回補正予算	原案可決	36	0
議第136号	出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	36	0
請願第12号	過労死防止基本法制定に関する意見書の提出を求める請願	採 択	36	0
請願第13号	市道八頭西線（仮称）整備に関する請願	採 択	36	0
陳情第15号	旧宍道邸の利用計画に関する陳情	不 採 択	32	4
陳情第16号	「出雲市財政計画」の早急な見直しを求める陳情	趣旨採択	34	2
意見書第6号	過労死防止基本法制定に関する意見書	採 択	36	0
<b>【継続審査中の請願・陳情】</b>				
平成23年度陳情第16号	鳥根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情	継続審査	30	6
陳情第1号	成立を目指している出雲市自治基本条例に関し、白紙撤回を求める陳情	継続審査	29	7
陳情第10号	反問権の導入に関する陳情	趣旨採択	34	2
陳情第14号	神戸川再生についての陳情	趣旨採択	27	9

## 議会活動 (2月13日～5月1日に開催された会議)

- |                                       |                                    |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| 2月13日(水) 中国市議会議長会支部長市事務局長会議<br>(岡山市)  | 2月26日(火) 総合交通対策特別委員会、広報委員会         |
| 18日(月) 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会               | 28日(木) 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会            |
| 19日(火)～3月14日(木)<br>平成24年度第5回定例市議会     | 3月 4日(月) 環境経済委員会協議会                |
| 19日(火) 議会運営委員会、全員協議会                  | 12日(火) 議会運営委員会                     |
| 20日(水) 堀川水系対策協議会                      | 14日(木) 全員協議会                       |
| 21日(木) 理事会                            | 21日(木) 広報委員会                       |
| 22日(金) 商工議員連盟                         | 4月30日(火)～5月1日(水)<br>平成25年度第1回臨時市議会 |
| 25日(月) 商工議員連盟、原子力発電・新エネルギー<br>調査特別委員会 | 30日(火) 全員協議会                       |
|                                       | 5月 1日(水) 全員協議会、議会運営委員会             |

### 今後の本会議の予定

## 平成25年度 6月定例市議会 日程(案)

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 5月27日(月) 本会議(開会、施政方針表明、議案上程・説明) | 14日(金) 文教厚生委員会             |
| 30日(木) 本会議(施政方針に対する会派代表質問・1日目)  | 17日(月) 環境経済委員会             |
| 31日(金) 本会議(施政方針に対する会派代表質問・2日目)  | 18日(火) 建設水道委員会             |
| 6月 7日(金) 本会議(一般質問・1日目)          | 19日(水) 予算特別委員会(1日目)        |
| 10日(月) 本会議(一般質問・2日目)            | 20日(木) 予算特別委員会(2日目)        |
| 11日(火) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託) | 21日(金) 予算特別委員会(3日目)        |
| 13日(木) 総務委員会                    | 25日(火) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会) |

### 編集後記

今期、市議会だよりの編集委員を再度務めた。あっという間の2年であったが、振り返るととても勉強になった。市議会の様子を議会だよりという広報を通じて、市民の皆さんに正しくお伝えするには、正しい語句や表現を用いる必要がある。適切かどうか確認しながら編集作業を進めていくわけである。これらが、日常の議員活動に生きていることに、ふと気付く。

言葉や、考えを正しく伝えることの大切さ。また、受け取る側の立場を尊重する気持ち。

そうこうしているうちに、市議会議員の改選の春がやつて来た。この気持ちを忘れたくないものだ。

(松村豪人 記)

### 広報委員会

委員長 米山 副委員長 松村

委員 大松 大場 松村 米山 飯科 孝利 豪志 小村 吉一 俊之 飯塚 孝充 保科 利信 川上 幸博 勝部 順子 山代 裕始 多和 康司 荒木 孝 杉谷 利寿 長廻 利行 宮本 享

### 議会に関するお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

### 出雲市議会事務局

〒693-8530 出雲市今市町70

TEL : (0853) 21-6579 FAX : (0853) 21-6251  
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/>

出雲市ホームページの中の [出雲市議会](#) をクリック  
メール : [gikai@city.izumo.shimane.jp](mailto:gikai@city.izumo.shimane.jp)